導入検討プラン 14 / 次の価値を探る

地域の暮らしから、店舗の価値を探る

店舗・地域サービス

店長育成や店舗運営の支援がある中で、地域に合う提供内容を考えるとき。一店舗が何を確かめ、どの裁量で試し、本部の何を必要とするかを具体化します。

> 目指す仕事の状態
>
> 地域の利用者が大切にすることを基に、店が提供する価値の候補を試し、利用と運営の両面から続け方を選べる。

当社が担う仕事

01 暮らしの工夫を知る

利用者が実際に行っていることや工夫を観察し、店が想定した価値と本人の目的を比べます。

02 一店舗で小さく試す

スタッフの気づきから提供案を選び、店長の裁量と本部への依頼を整理して試す形をつくります。

03 利用と運営を照らす

再び選ぶ理由、増えた運営業務、採算を確認し、その地域で続けられる提供内容を見直します。

最初に試す一件

一店舗の一つの利用場面を選び、利用者の工夫から提供案をつくり、既存の運営の中で小さく試します。

導入と、実践後の確認

最初に確かめること

- 地域の人が、暮らしの中で行っている工夫は何ですか。
- 店が考えた価値と、利用者が実現したいことはどこで違いますか。
- 続けるために、スタッフや本部のどの仕事が増えますか。

社内に残すもの

- 地域の利用場面と提供価値の候補
- 一店舗で試す案と本部への依頼事項
- 利用の反応・運営業務・採算の確認記録

実践後に確かめること

- 利用された場面と、再び選ぶ理由
- スタッフと本部に増えた仕事
- その地域で続けるための採算と条件

一緒に進める人と役割

店長・スタッフ	利用者に確かめ、現場で試せる案と運営上の条件を考えます。
本部・意思決定者	裁量、専門的な確認、必要な資源と継続条件を整えます。
当社	観察の問いと試行を設計し、地域の必要と店の仕事を結び付けます。

実施条件と、役割の範囲

利用者に接する機会、店舗で試す裁量、本部が対応する範囲を用意します。 商品・安全・運営の基準は既存のものを用います。地域ごとの利用を確かめ、展開先で必要な変更を判断します。

支援を組み立てる根拠

相手の行動と工夫から価値を探る観察・試行の知見を用います。店舗固有の価値と採算は、地域の利用で確かめます。

実務の確認・設計・実践支援の範囲に応じ、期間と費用をご提案します。

ご相談：requestgroup.jp/request

公開情報調査（2026年11月1日）から構成した検討案。

詳細を見る